

県内の景気動向

概況（2026 年 5 月）

景気は、緩やかに拡大している（33 カ月連続）

消費関連では、スーパー売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を下回るも、5 月としては過去 3 番目

消費関連は、節約志向が継続しつつも旺盛な観光需要を背景に回復の動きが強まっていること、建設関連は、受注額の増加から手持ち工事額が増加傾向にあり回復の動きが強まっていること、観光関連は、海路経由の入域数の減少はあるものの、国内外ともに旅行需要が好調に推移し、力強く拡大していることなどから、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

先行きは、旺盛な観光需要にけん引され底堅い推移が見込まれることから、引き続き緩やかに拡大するとみられる。

消費関連

百貨店売上高は、2 カ月連続で前年を上回った。催事企画において SNS を活用した集客が奏功し食料品が増加したことや、増床区画の売上が好調となり、売上増加に寄与した。スーパー売上高は、値上げによる単価上昇に加え、来店客数の増加がみられ、既存店、全店ベースともに 9 カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、観光需要の高まりでレンタカー登録台数が増加したことなどにより、3 カ月連続で前年を上回った。家電大型専門店販売額（4 月）は、県の補助事業「おきなわ省エネ家電購入応援キャンペーン」の効果などにより、4 カ月連続で前年を上回った。

先行きは、引き続き物価の動向に注視する必要があるものの、旺盛な観光需要を背景に底堅い推移が見込まれ、緩やかな回復の動きが続くとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、独立行政法人等・その他は増加したものの、国、県、市町村は減少したことから 3 カ月連続で前年を下回った。建築着工床面積（4 月）は、非居住用は増加したものの、居住用は減少したことから 4 カ月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数（4 月）は、貸家は増加したものの、持家、給与住宅、分譲は減少したことから 9 カ月ぶりに前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事は増加したものの、公共工事は減少したことから 7 カ月ぶりに前年を下回った。建設資材関連では、セメント、生コンともに 11 カ月連続で前年を下回った。鋼材売上高は 7 カ月ぶりに前年を上回り、木材売上高は 3 カ月連続で前年を上回った。

先行きは、資材価格の高止まりや人手不足、加えて中東情勢の影響などに注視する必要があるものの、公共工事・民間工事の受注増から手持ち工事額が増加し、回復の動きが強まるとみられる。

観光関連

入域観光客数は、54 カ月ぶりに前年を下回った。国内客は 23 カ月連続で増加し、外国客はクルーズ船の寄港が減少したことなどから 2 カ月連続で減少した。県内主要ホテルは、稼働率は 26 カ月ぶりに低下、売上高は 24 カ月連続で増加、宿泊収入は 4 カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数(速報値)は 51 カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は 8 カ月連続で減少し、売上高は 4 カ月ぶりに前年を下回った。堅調な国内観光客の増加により、引き続き好調に推移した。

先行きは、中国の渡航自粛の影響はあるものの、外国からの訪日意欲が高く外国客の増加が見込まれること、夏の旅行シーズンに向けた国内客の旅行需要も予想されることから、引き続き力強く拡大するとみられる。

雇用関連

新規求人数（４月）は、前年同月比 2.7%減となり 12 カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、卸売業・小売業や情報通信業などで減少した。有効求人倍率（４月、季調値）は 1.12 倍で、前月より 0.04 ポイント上昇した。完全失業者数は 3 万 1,000 人で同 6.1%減となり、完全失業率（４月、季調値）は 3.2%と、前月から 0.2 ポイント上昇した。

その他

消費者物価指数は、前年同月比 2.3%の上昇となり、57 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 2.3%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 2.8%の上昇となった。

倒産件数は 2 件で前年同月と同水準となった。負債総額は 7,600 万円で、前年同月比 72.8%減となった。

りゅうぎん調査（2026 年 5 月）

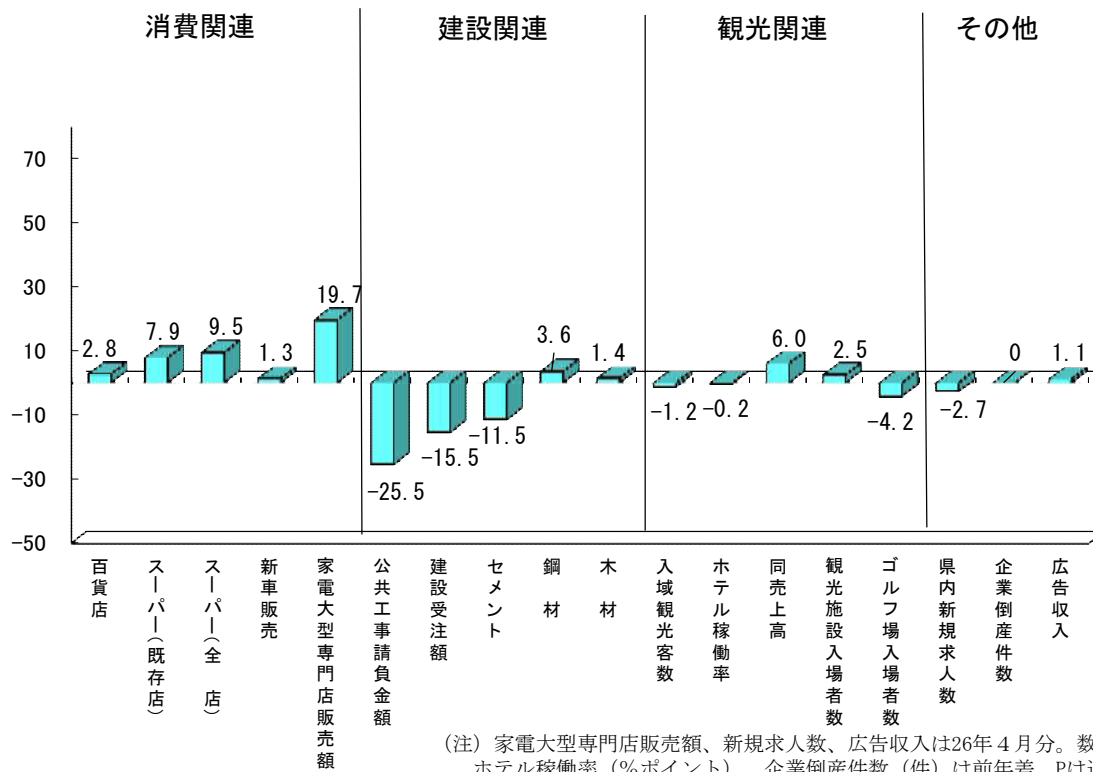
	増減率(%)	
	前年同月比	前年同期比 (2026.3－2026.5)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	2.8	0.3
(2) スーパー(既存店)(金額)	7.9	5.9
(3) スーパー(全店)(金額)	9.5	7.2
(4) 新車販売(台数)	1.3	1.8
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(4月) 19.7	(2-4月) 7.7
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	▲ 25.5	▲ 16.2
(2) 建築着工床面積(m ²)	(4月) ▲ 3.4	(2-4月) 24.3
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(4月) ▲ 12.9	(2-4月) 7.1
(4) 建設受注額(金額)	▲ 15.5	13.8
(5) セメント(トン数)	▲ 11.5	▲ 9.5
(6) 生コン(m ³)	▲ 8.4	▲ 10.1
(7) 鋼材(金額)	3.6	▲ 5.1
(8) 木材(金額)	1.4	6.3
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	▲ 1.2	3.0
うち外国客数(人数)	▲ 9.0	2.8
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) ▲ 0.2	(前年同期差) 2.8
	(実数) 60.5	(実数) 66.9
(3) " 売上高(金額)	6.0	8.4
(4) 観光施設入場者数(人数)	P 2.5	P 3.3
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 4.2	P ▲ 6.5
(6) " 売上高(金額)	▲ 1.2	P 2.6
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	(4月) ▲ 2.7	(2-4月) ▲ 4.6
(2) 有効求人倍率(季調値)	(4月) 1.12	(2-4月) 1.10
(3) 消費者物価指数(総合)	2.3	1.8
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 0	(前年同期差) 1
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(4月) 1.1	(2-4月) 2.4

(注 1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

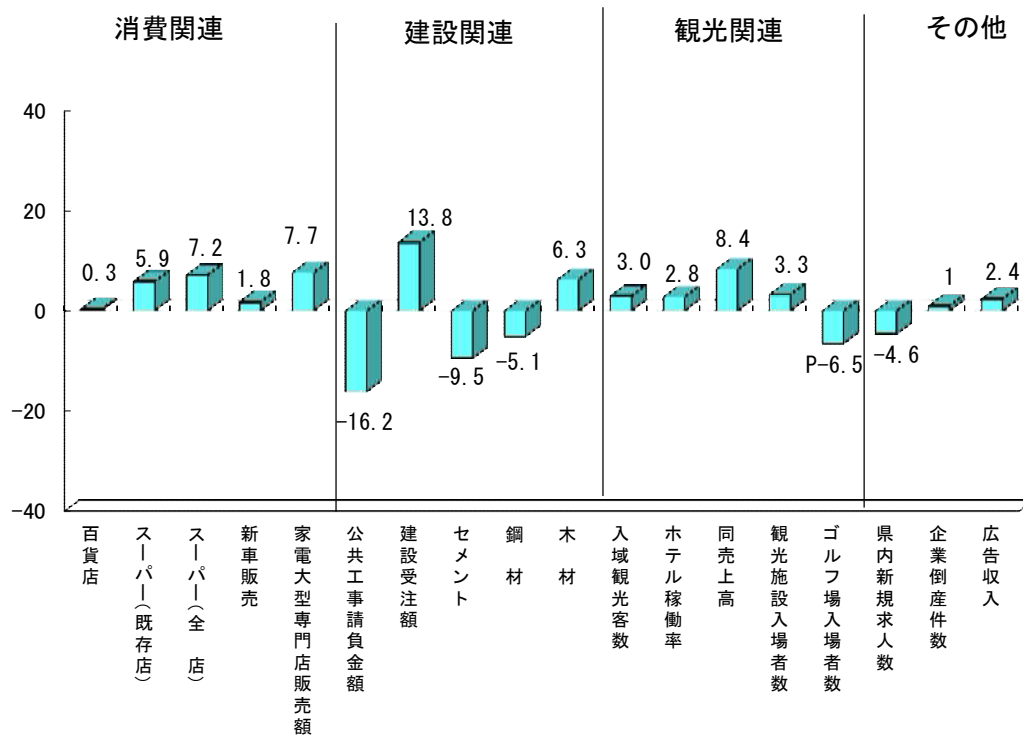
企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注 2) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2026年5月)

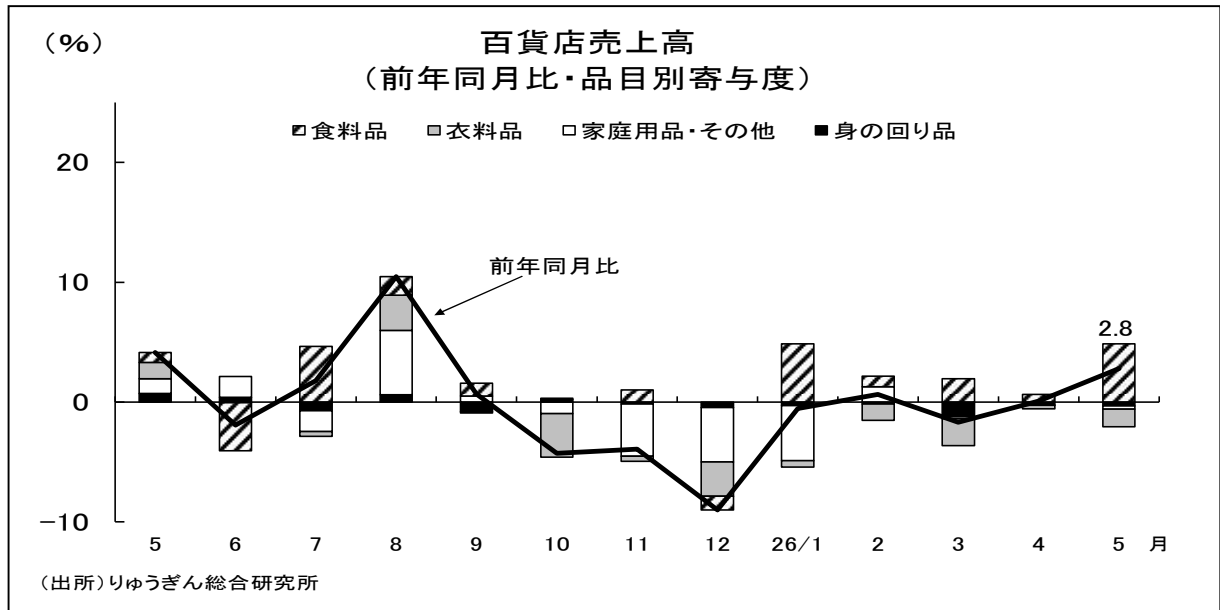


項目別グラフ(3カ月、2026年3月～2026年5月)



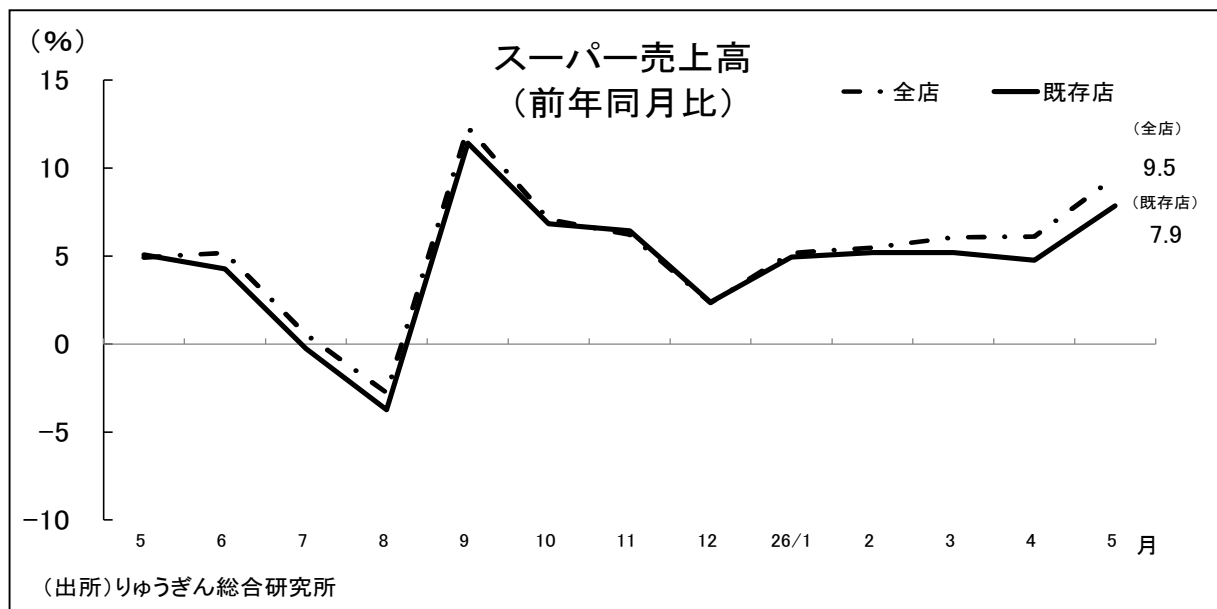
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：2カ月連続で増加



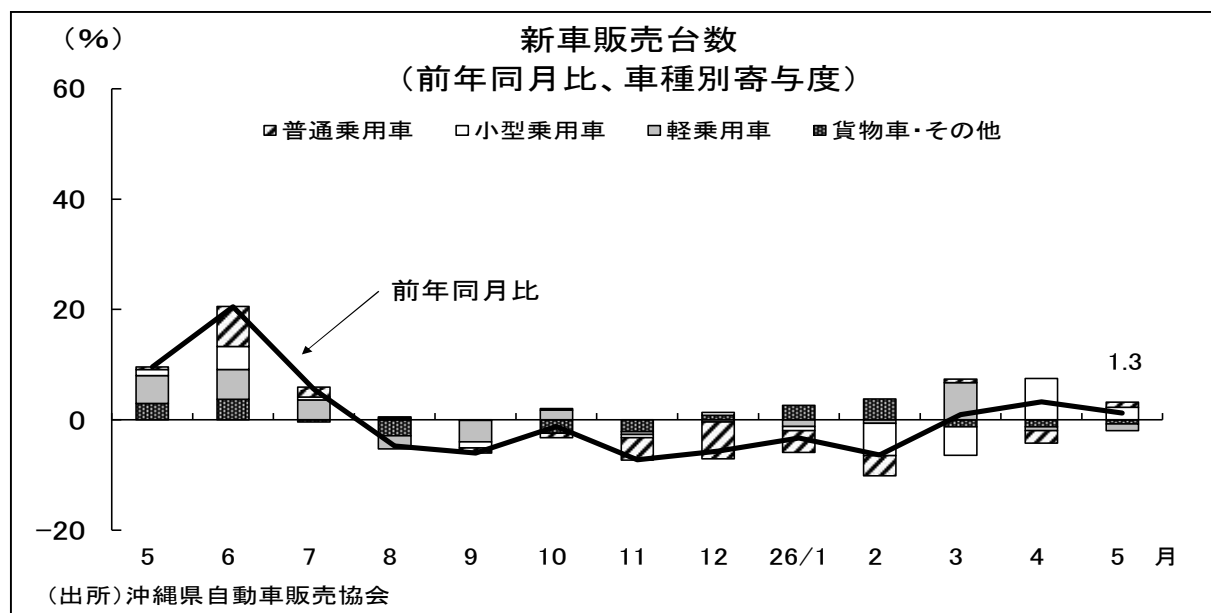
- 百貨店売上高は、前年同月比 2.8%増と 2 カ月連続で前年を上回った。
- 催事企画において SNS を活用した集客が奏功し食料品が増加したことや、増床区画の売上が好調となり、売上増加に寄与した。
- 品目別にみると、食料品が同 14.9%増、家庭用品その他が同 0.9%減、衣料品が同 4.7%減、身の回り品が同 5.3%減となった。

(2) スーパー売上高：既存店、全店ともに 9 カ月連続で増加



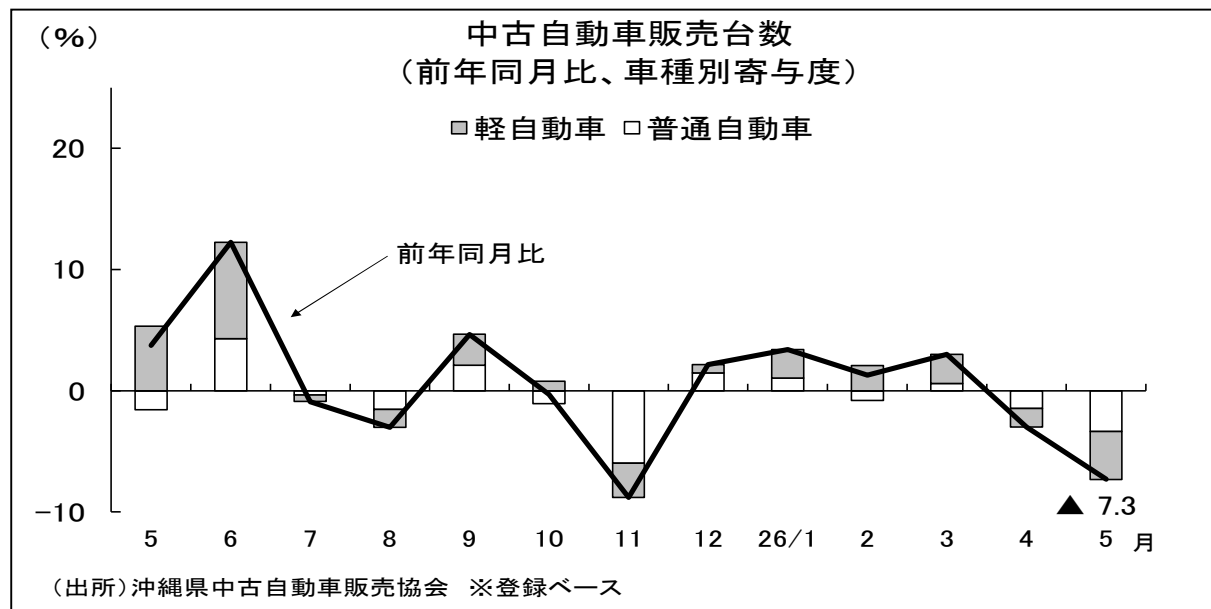
- スーパー売上高は、既存店ベースは前年同月比 7.9%増と 9 カ月連続で前年を上回った。
- 値上げによる単価上昇に加え、来店客数の増加がみられ好調に推移した。台風対策による需要増などから、食料品が同 7.2%増、衣料品は同 8.7%増、住居関連は同 11.0%増となった。
- 全店ベースは、同 9.5%増と 9 カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：3カ月連続で増加



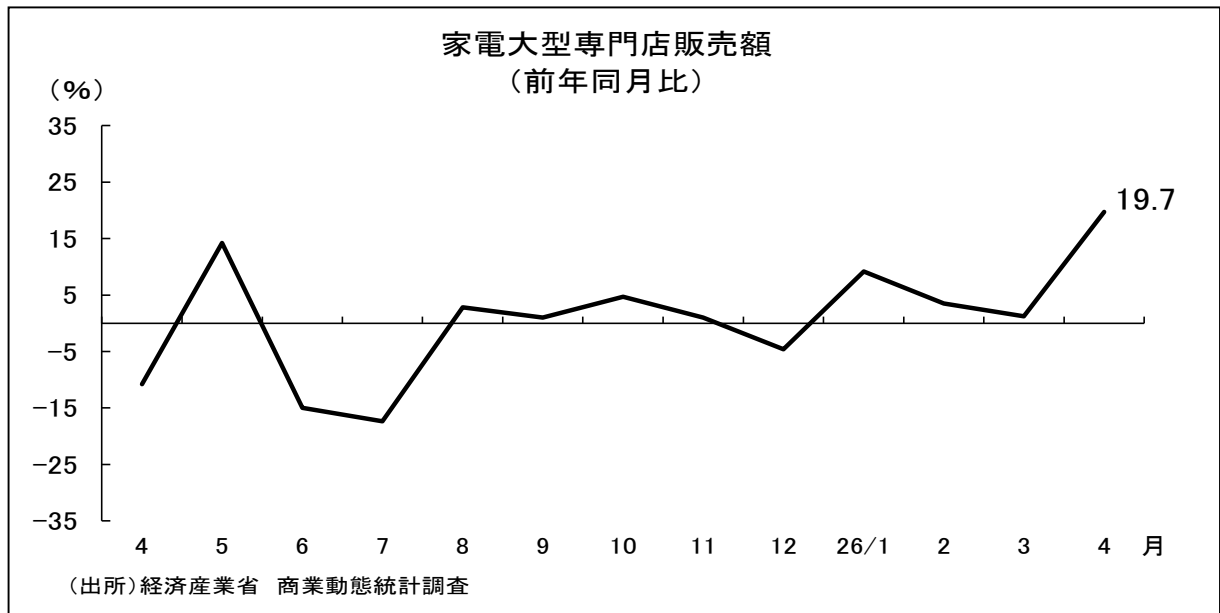
- ・ 新車販売台数は3,396台で、前年同月比1.3%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 観光需要の高まりでレンタカー登録台数が増加し、全体を押し上げた。
- ・ 車種別にみると、普通自動車（登録車）は1,823台（前年同月比7.0%増）で、うち普通乗用車は677台（同4.8%増）、小型乗用車は974台（同8.5%増）であった。軽自動車（届出車）は1,573台（同4.7%減）で、うち軽乗用車は1,198台（同3.2%減）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：2カ月連続で減少



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、1万7,533台で前年同月比7.3%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が6,929台（前年同月比8.4%減）、軽自動車が1万604台（同6.6%減）となった。

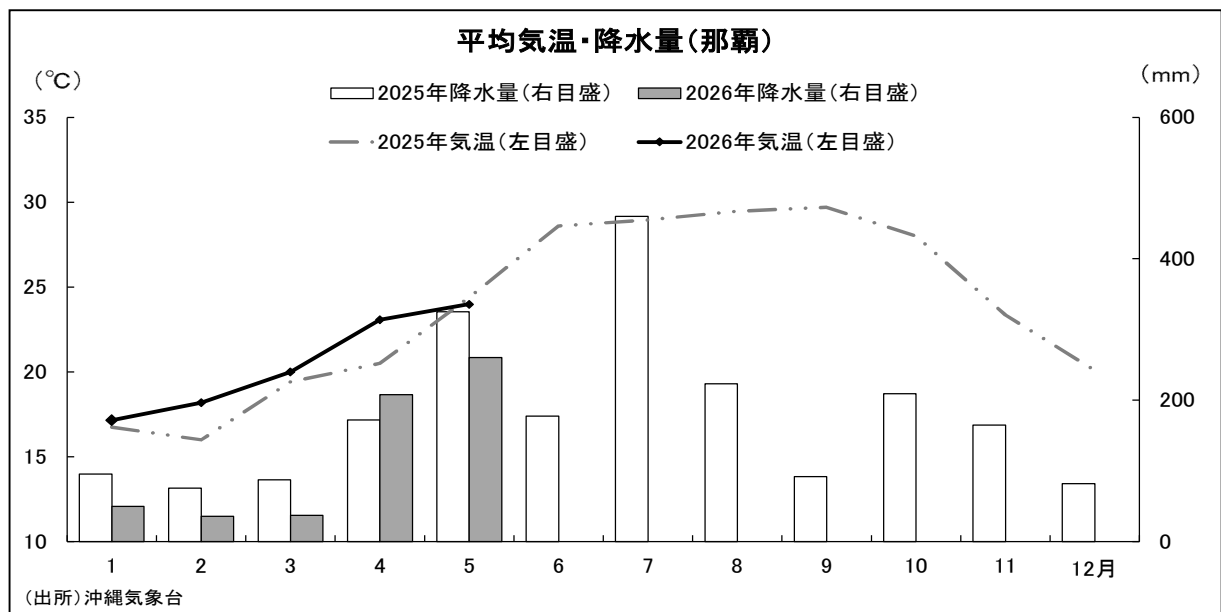
(5) 家電大型専門店販売額：4カ月連続で増加



- ・ 家電大型専門店販売額（4月）は、前年同月比 19.7%増と 4 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 3 月より開始した県の補助事業「おきなわ省エネ家電購入応援キャンペーン」により、省エネ性能の高いエアコンや冷蔵庫などの売上が増加した。

(参考)

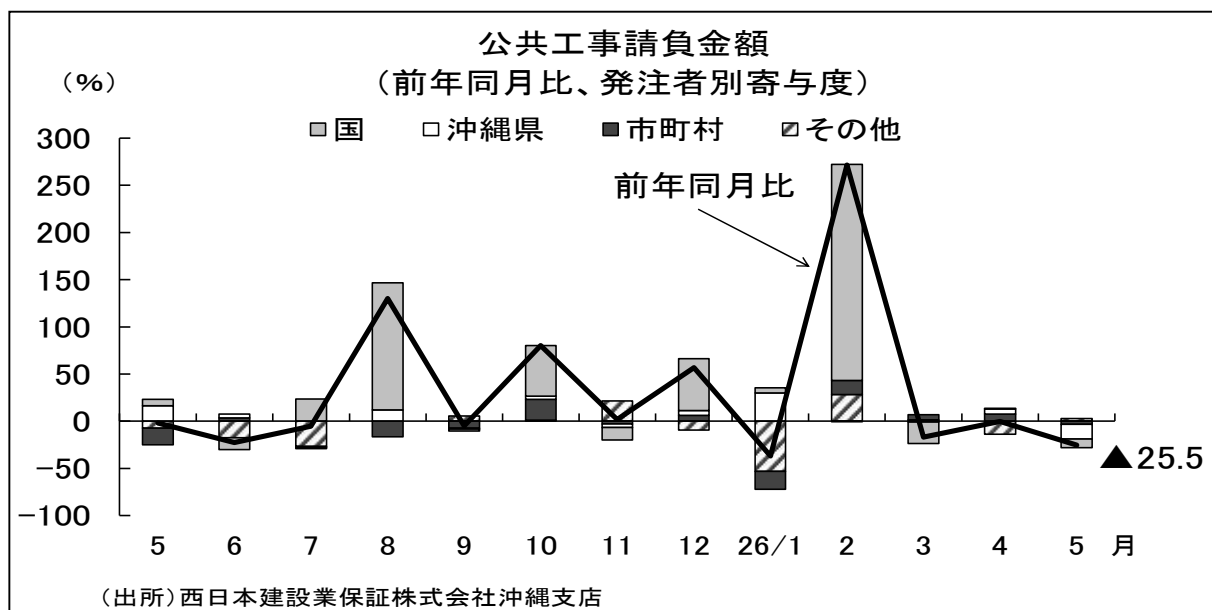
◇ 気象: 平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は 24.0℃で前年同月 (24.4℃) より低く、降水量は 260.5mmで前年同月 (325.0mm) より少なかった。
- ・ 沖縄地方は、梅雨前線や低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった所があったが、期間の後半は先島諸島を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- ・ 平均気温、降水量、日照時間すべて平年並であった。

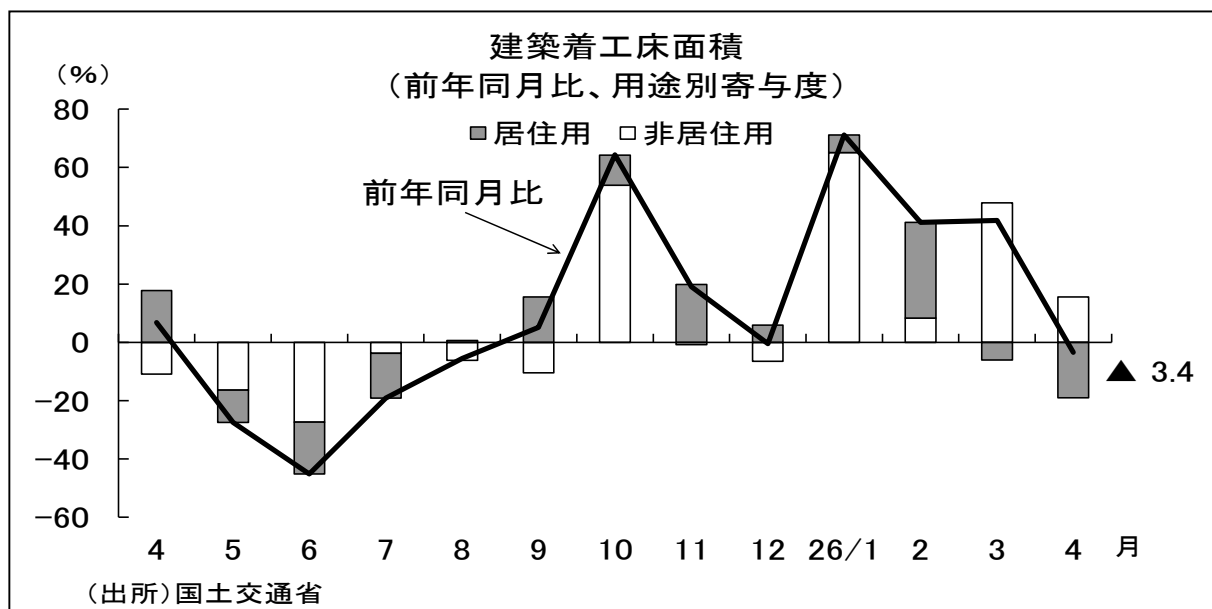
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：3カ月連続で減少



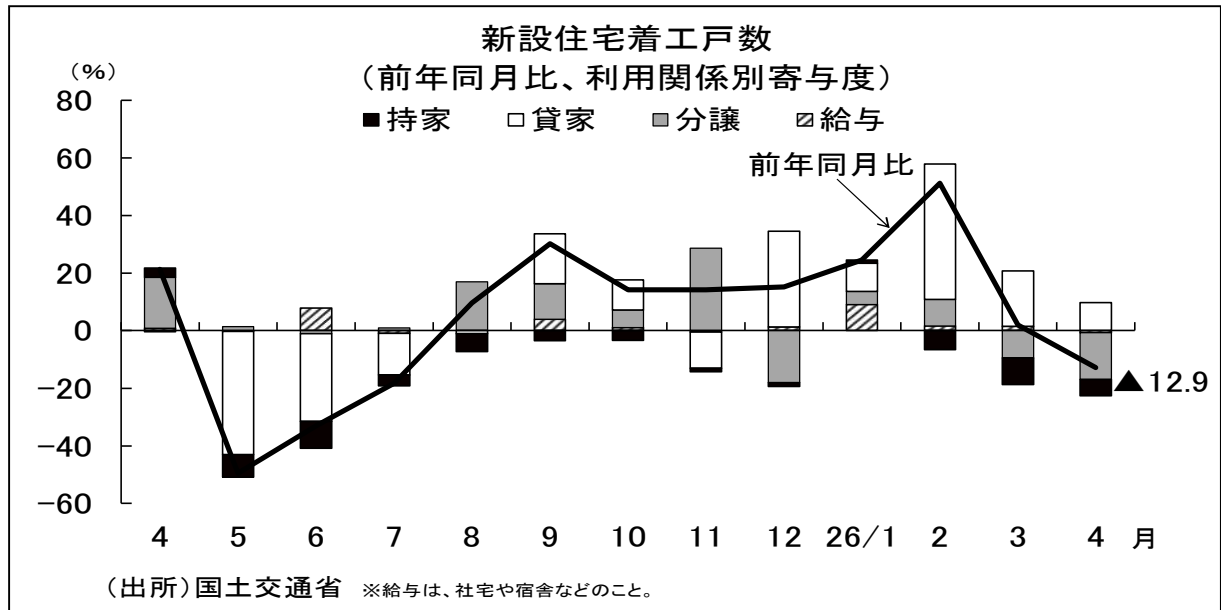
- 公共工事請負金額は、163 億 67 百万円で前年同月比 25.5%減となり、3カ月連続で前年を下回った。
- 発注者別では、独立行政法人等・その他は 35.9%増となり、国は同 45.1%減、県は同 34.9%減、市町村は同 12.5%減となった。

(2) 建築着工床面積：4カ月ぶりに減少



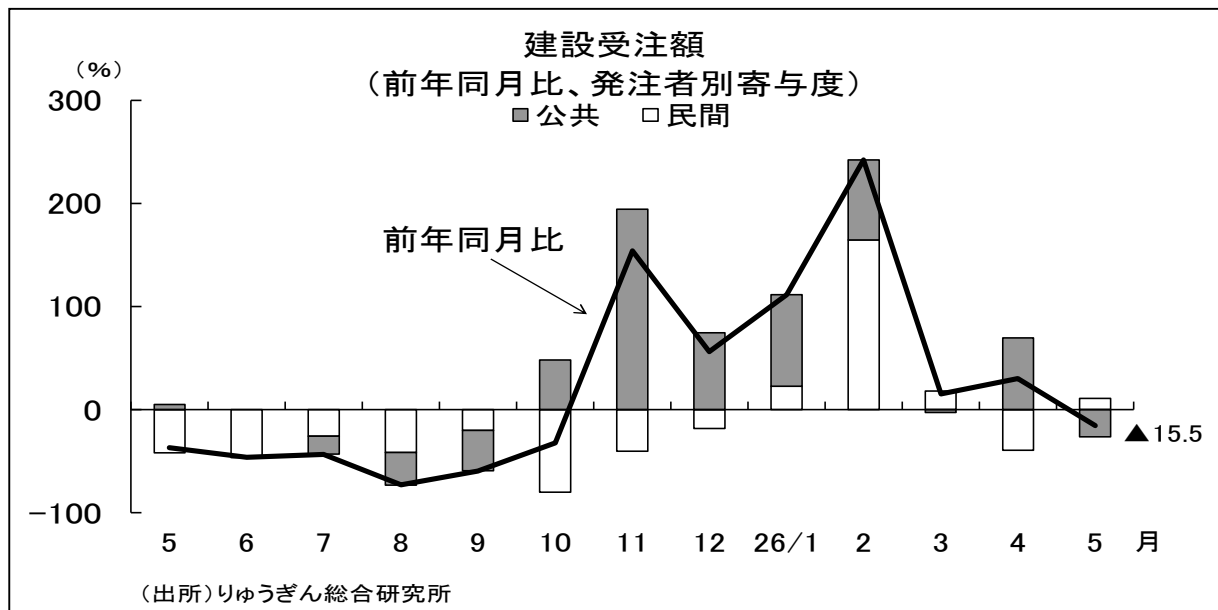
- 建築着工床面積(4月)は11万1,564 ㎡で前年同月比 3.4%減と4カ月ぶりに前年を下回った。居住用は同 26.3%減となり、非居住用は同 56.3%増となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用は減少し、居住産業併用は増加した。非居住用では、飲食店・宿泊業用、医療・福祉用などが増加し、公務用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：9カ月ぶりに減少



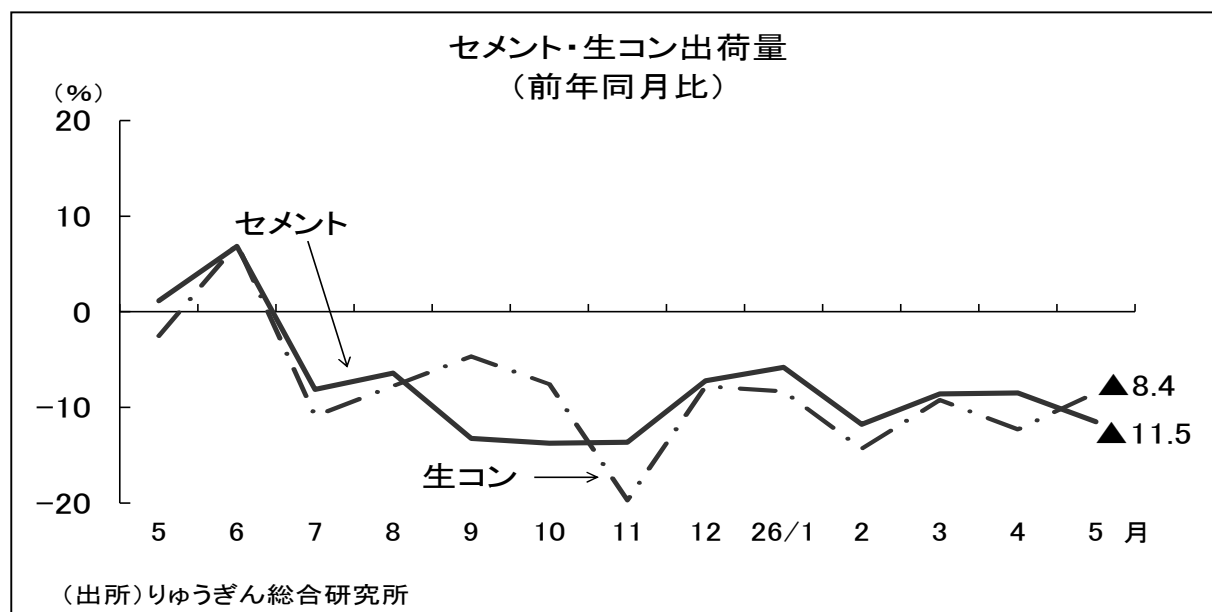
- ・ 新設住宅着工戸数（4月）は901戸で前年同月比12.9%減と9カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 利用関係別では、貸家（595戸）が同20.4%増となり、持家（130戸）が同31.2%減、給与住宅（1戸）が同87.5%減、分譲（175戸）が同49.0%減となった。

(4) 建設受注額：7カ月ぶりに減少



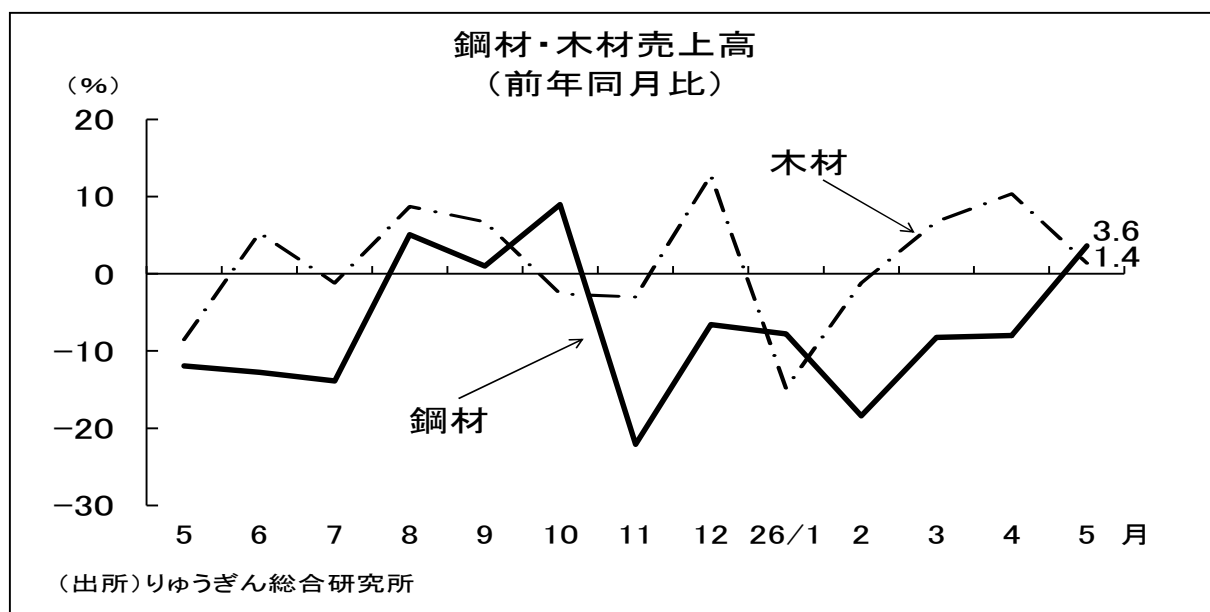
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社）は前年同月比15.5%減と7カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 発注者別では、公共工事は同60.5%減と2カ月ぶりに減少し、民間工事は同19.4%増と2カ月ぶりに増加した。

(5) セメント・生コン：セメント、生コンともに11カ月連続で減少



- ・ セメント出荷量は5万2,834トンとなり、前年同月比11.5%減と11カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は8万4,213 m³で同8.4%減と11カ月連続で前年を下回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、公共施設向けなどが増加し、庁舎関連向け、防衛省向けなどが減少した。民間工事では、社屋関連向けなどが増加し、個人住宅向け、ホテル向けなどが減少した。

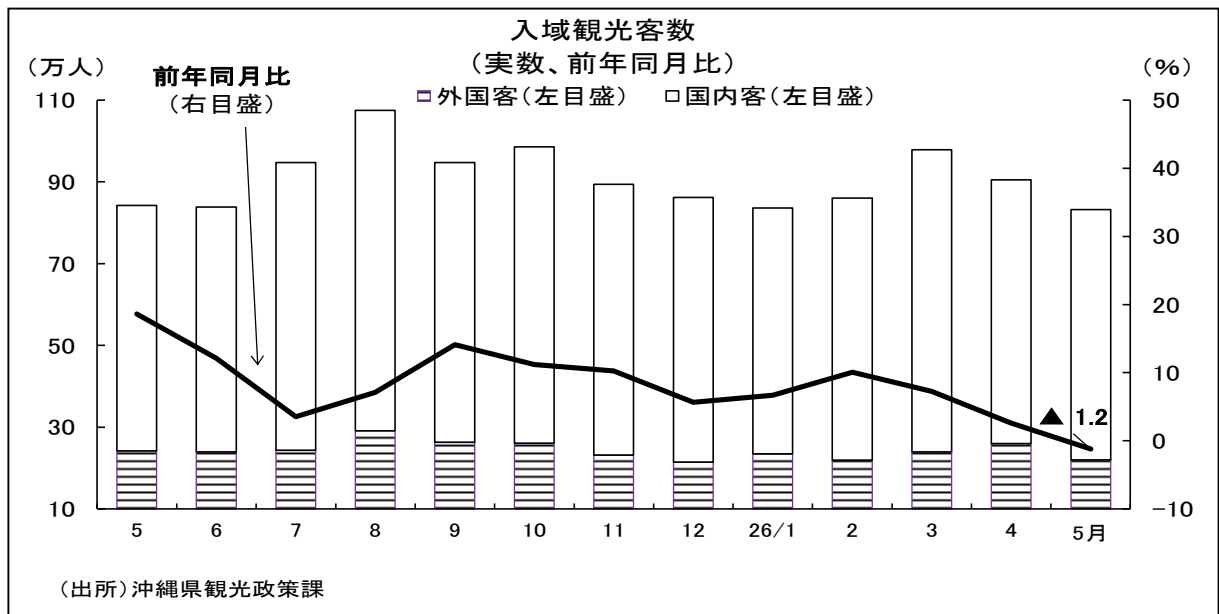
(6) 鋼材・木材：鋼材は7カ月ぶりに増加、木材は3カ月連続で増加



- ・ 鋼材売上高は、鋼材価格が上昇したことなどから前年同月比3.6%増と7カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、木材価格が上昇したことなどから同1.4%増と3カ月連続で前年を上回った。

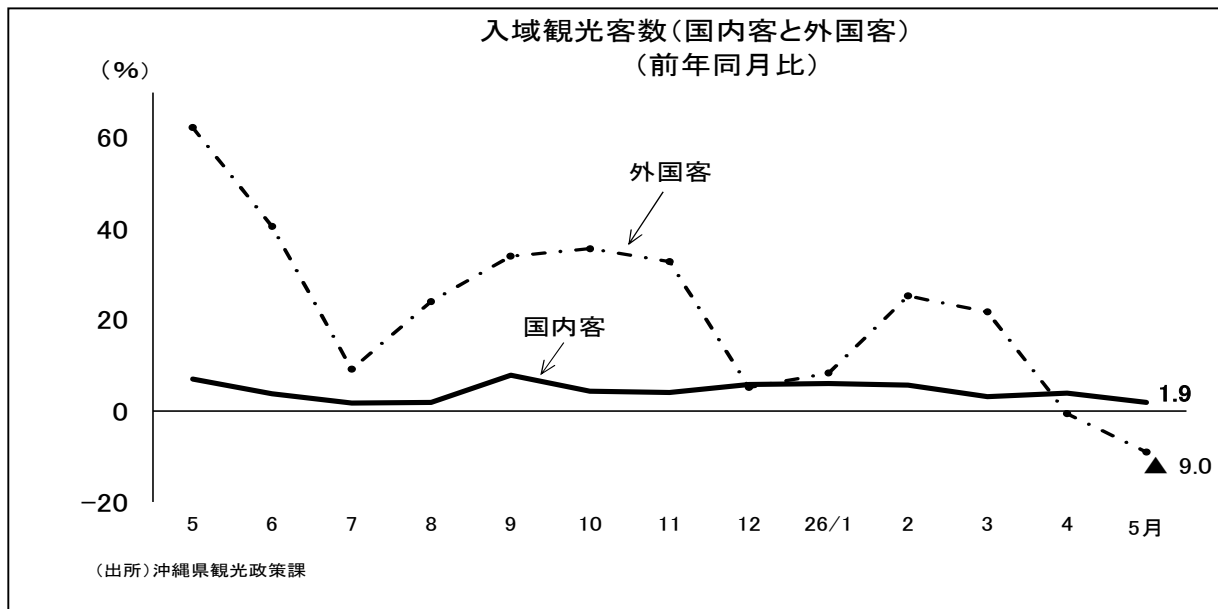
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：54 カ月ぶりに減少



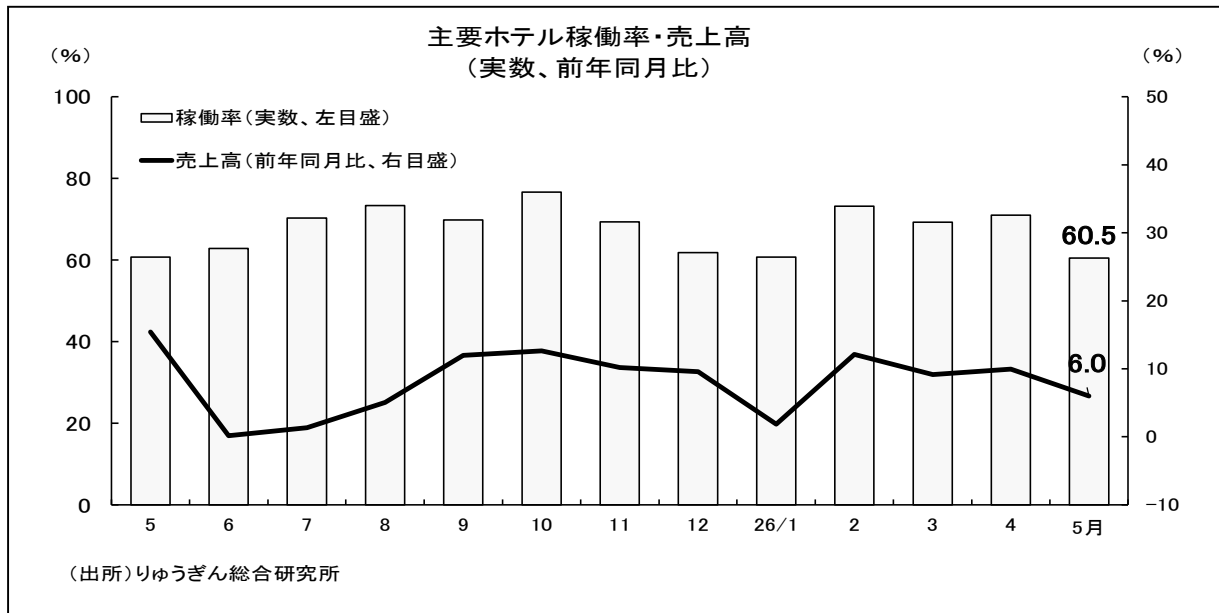
- 入域観光客数は、83 万 2,500 人（前年同月比 1.2%減）となり、54 カ月ぶりに前年を下回った。
- 路線別では、空路は 79 万 8,100 人（同 5.7%増）となり 54 カ月連続で前年を上回った。海路は 3 万 4,400 人（同 60.7%減）となり 2 カ月連続で前年を下回った。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は 23 カ月連続で増加、外国客は 2 カ月連続で減少



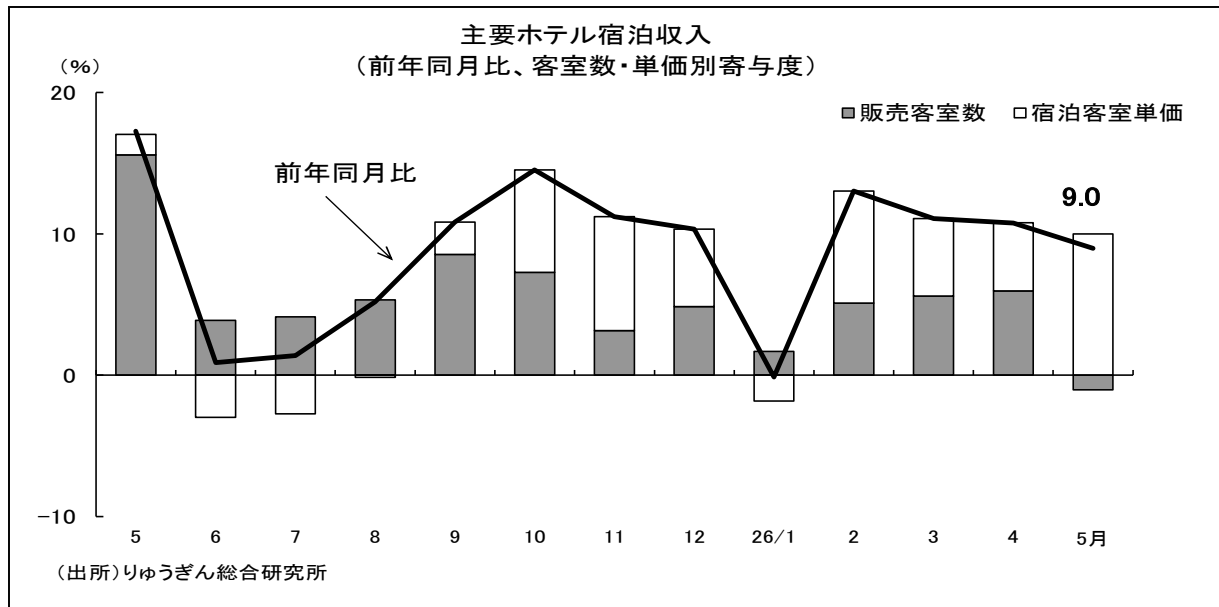
- 国内客は、61 万 2,600 人（前年同月比 1.9%増）となり、23 カ月連続で前年を上回った。外国客は 21 万 9,900 人（同 9.0%減）となり、2 カ月連続で減少した。
- 5 月はゴールデンウィークの旅行需要を見込んだ航空会社の増便・臨時便があったことから、国内客は前年同月を上回った。クルーズ船の寄港が減少したことなどから、外国客は前年同月を下回った。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は26カ月ぶりに低下、売上高は24カ月連続で増加



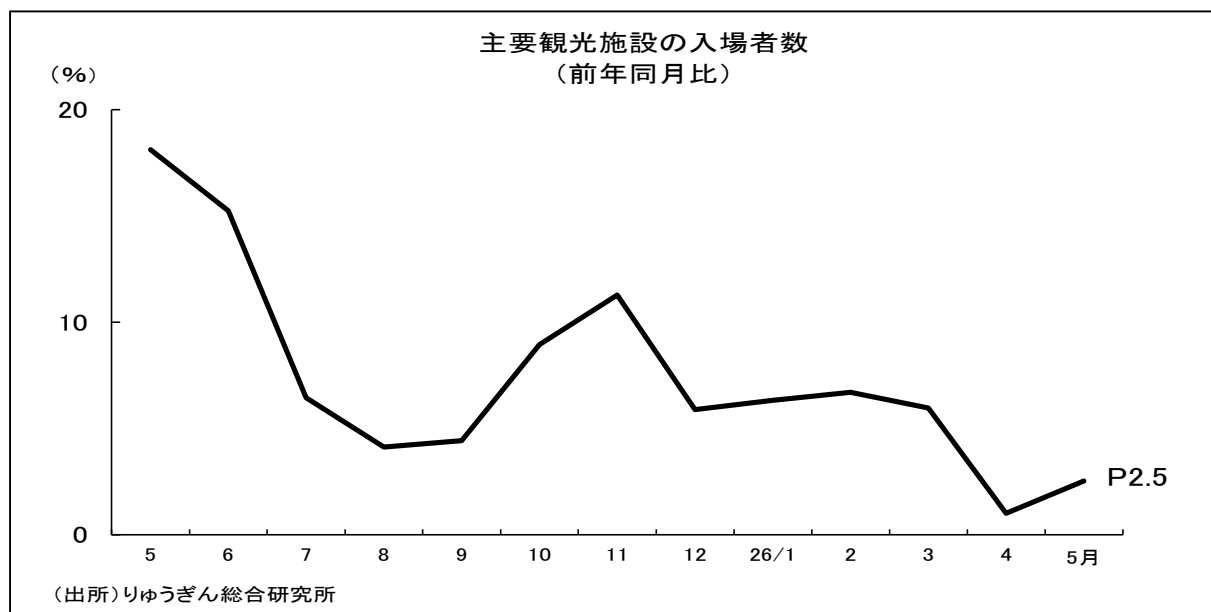
- ・ 主要ホテルの客室稼働率は60.5%と前年同月差0.2%ポイント低下し26カ月ぶりに前年を下回り、売上高は前年同月比6.0%増となり、24カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルの客室稼働率は70.5%と同1.4%ポイント上昇し、6カ月連続で前年を上回り、売上高は同1.3%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテルの客室稼働率は56.7%と同0.8%ポイント低下し、26カ月ぶりに前年を下回り、売上高は同7.0%増と11カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：4カ月連続で増加



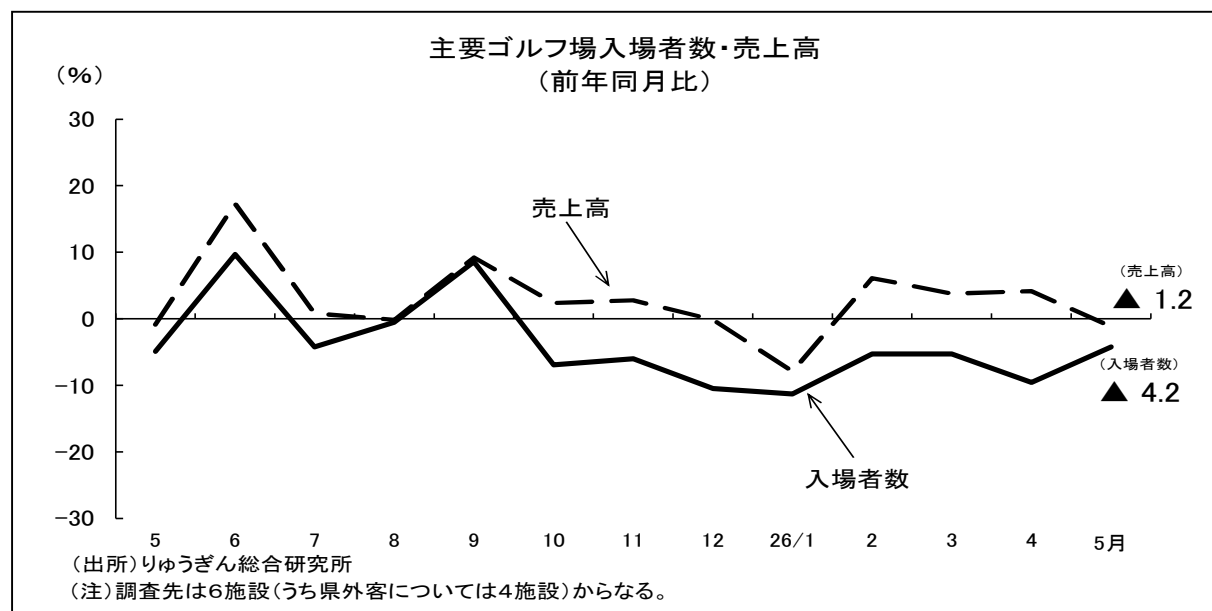
- ・ 主要ホテルの売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）が減少、宿泊客室単価（価格要因）は上昇し、前年同月比9.0%増と、4カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、販売客室数が増加、宿泊客室単価も上昇し、同9.3%増となり29カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテルは、販売客室数が減少、宿泊客室単価は上昇し、同8.9%増となり4カ月連続で前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：51 カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数(速報値)は、前年同月比 2.5%増と 51 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 修学旅行受入の増加がみられ、好調に推移した。

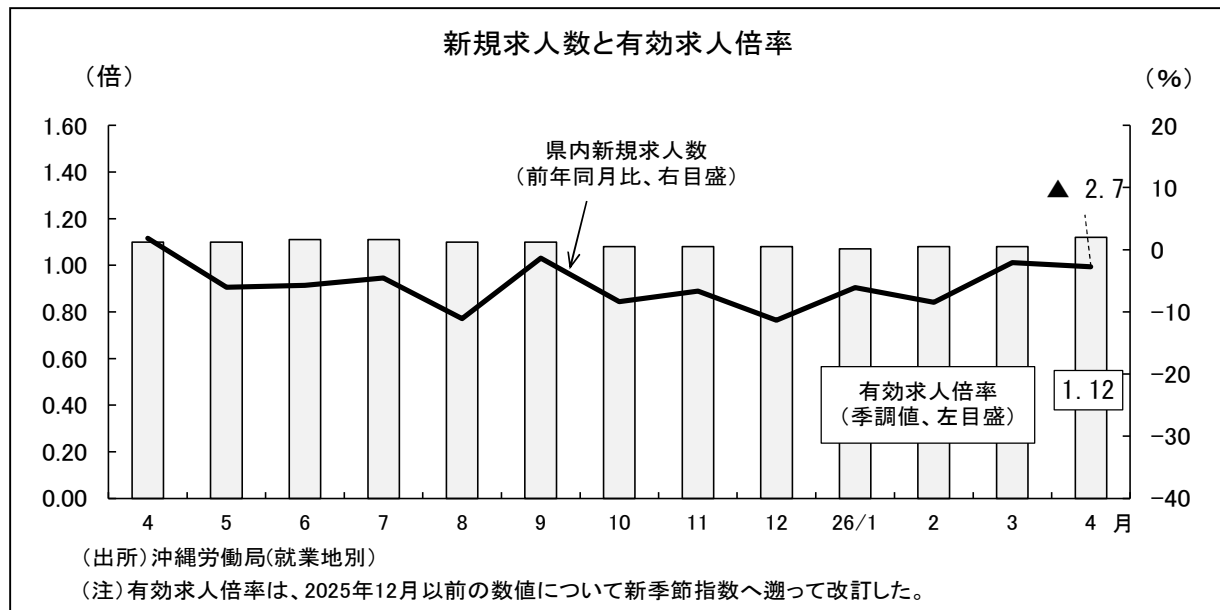
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は8 カ月連続で減少、売上高は4 カ月ぶりに減少



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 4.2%減と 8 カ月連続で前年を下回った。
- ・ 県内客は 8 カ月連続で前年を下回り、県外客は 5 カ月連続で前年を下回った。売上高は同 1.2% 減と 4 カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 単価は上昇したものの、県外客を中心とした入場者数の減少をカバーできなかった。

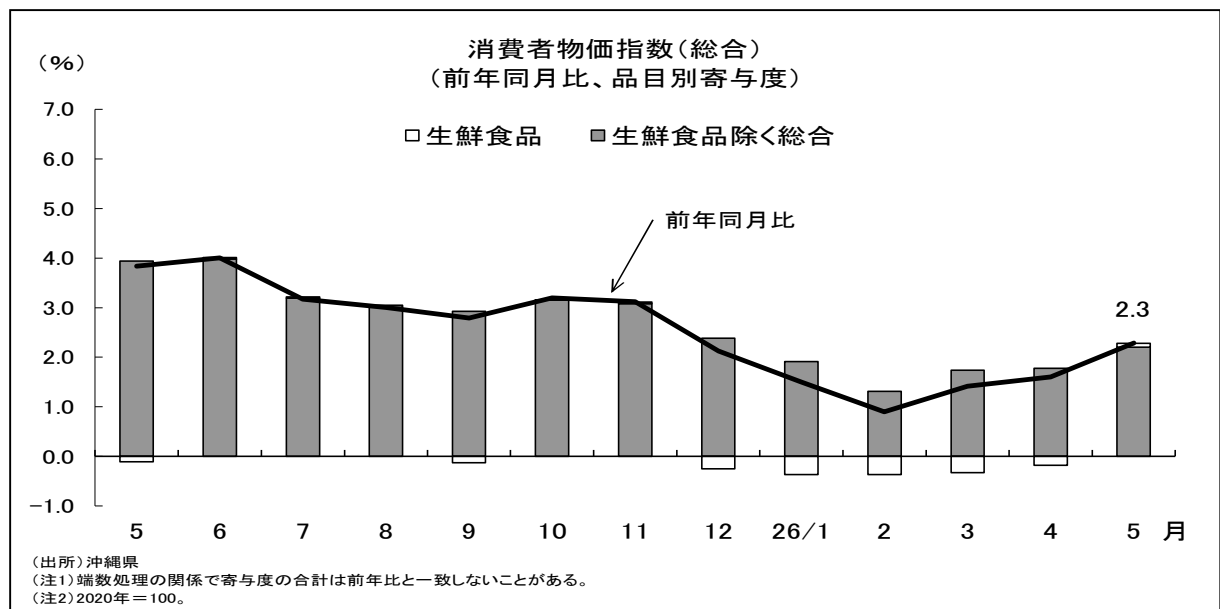
4. その他

(1) 雇用関連（再掲）：新規求人数（4月）は減少、有効求人倍率（4月、季調値）は上昇



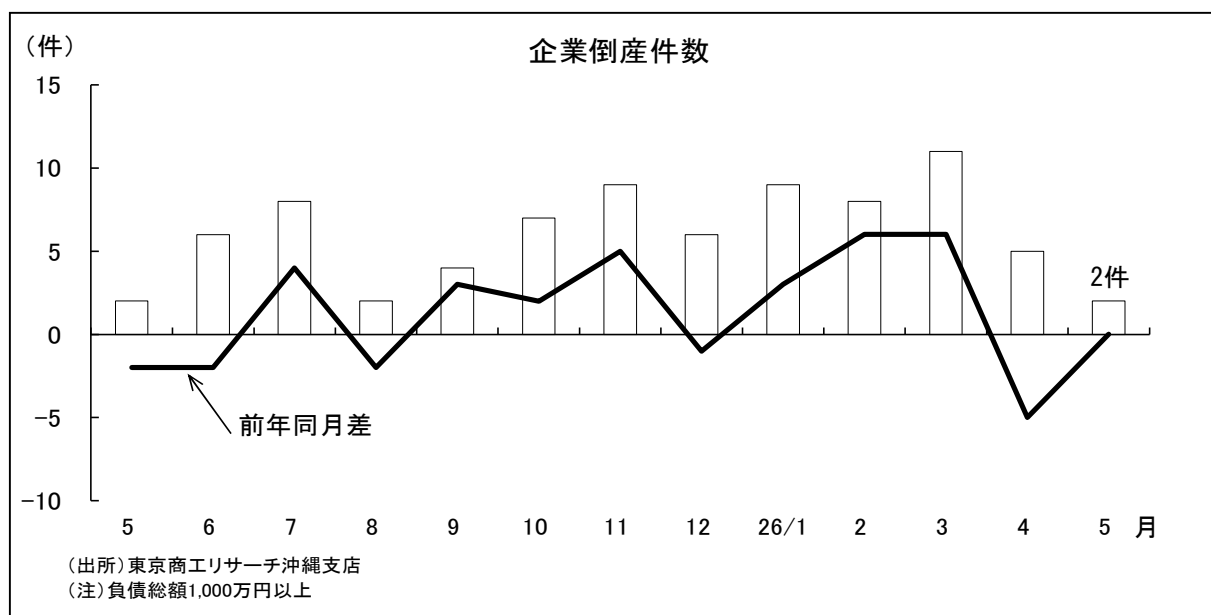
- 新規求人数（4月）は、前年同月比 2.7% 減となり 12 カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、卸売業・小売業や情報通信業などで減少した。有効求人倍率（4月、季調値）は 1.12 倍で、前月より 0.04 ポイント上昇した。
- 労働力人口（4月）は 81 万 2,000 人で同 1.4% 増となり、就業者数は 78 万 1,000 人で同 1.7% 増となった。完全失業者数は 3 万 1,000 人で同 6.1% 減となり、完全失業率（4月、季調値）は 3.2% と、前月から 0.2 ポイント上昇した。

(2) 消費者物価指数：57 カ月連続で上昇



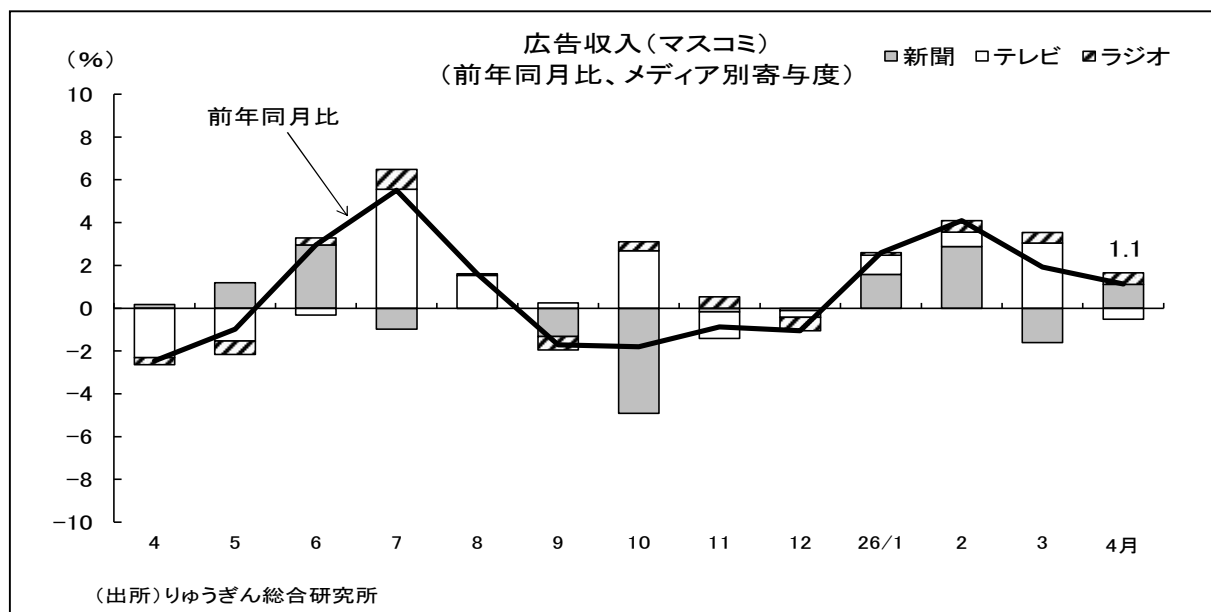
- 消費者物価指数は、前年同月比 2.3% の上昇となり、57 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 2.3% の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 2.8% の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、食料、交通・通信などで上昇し、教育などで下落した。

(3) 企業倒産：件数は同水準、負債総額は減少



- ・ 倒産件数は2件で前年同月と同水準となった。業種別では、建設業が1件、製造業が1件となった。
- ・ 負債総額は7,600万円で、前年同月比72.8%減となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：4カ月連続で上昇



- ・ 広告収入（マスコミ：4月）は、前年同月比1.1%増と4カ月連続で前年を上回った。
- ・ 企業の落成広告や周年広告が順調だった。

沖縄県内の主要金融経済指標

沖縄県内の主要金融経済指標(その1)

	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全 店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台 数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
暦年	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2023	8.4	5.5	6.1	▲ 0.8	19.2	3.6	425,816	25.1	1,337	▲ 12.0
2024	6.0	4.9	5.4	10.2	▲ 9.3	1.5	405,602	▲ 4.7	1,206	▲ 9.8
2025	0.8	3.7	4.2	▲ 1.3	10.3	0.9	472,857	16.6	1,167	▲ 3.2
2025 4	4.9	4.2	4.1	▲ 10.8	21.2	2.1	20,078	41.1	116	6.9
5	4.1	5.1	4.9	14.2	9.6	3.7	21,968	▲ 2.0	109	▲ 27.5
6	▲ 1.9	4.3	5.2	▲ 15.0	20.5	12.2	26,348	▲ 22.7	73	▲ 45.2
7	1.8	▲ 0.3	0.6	▲ 17.4	5.6	▲ 0.9	42,763	▲ 5.6	80	▲ 19.2
8	10.5	▲ 3.7	▲ 2.8	2.8	▲ 4.7	▲ 3.0	54,259	130.0	91	▲ 5.5
9	0.7	11.4	12.3	1.0	▲ 6.0	4.7	31,280	▲ 5.2	90	5.1
10	▲ 4.3	6.8	7.1	4.7	▲ 1.2	▲ 0.3	44,324	80.0	154	64.3
11	▲ 3.9	6.4	6.2	1.0	▲ 7.3	▲ 8.8	27,096	1.6	89	19.1
12	▲ 9.0	2.4	2.3	▲ 4.6	▲ 5.7	2.2	15,752	56.6	108	▲ 0.4
2026 1	▲ 0.5	4.9	5.2	9.2	▲ 3.3	3.4	13,220	▲ 37.0	123	71.1
2	0.7	5.2	5.5	3.5	▲ 6.4	1.3	96,827	271.5	90	41.2
3	▲ 1.7	5.2	6.1	1.2	0.9	3.0	117,776	▲ 17.0	172	41.8
4	0.1	4.8	6.1	19.7	3.3	▲ 3.0	20,043	▲ 0.2	112	▲ 3.4
5	2.8	7.9	9.5	-	1.3	▲ 7.3	16,367	▲ 25.5	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ			経済産業省	自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

	新設住宅着工戸数		建 設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼 材 売上高	木 材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3カ月移 動平均)
暦年	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2023	10,183	10.9	32.4	0.6	▲ 0.1	14.6	▲ 2.5	-	-	-
2024	9,703	▲ 4.7	▲ 10.4	▲ 4.1	▲ 2.4	0.7	▲ 0.1	-	-	-
2025	9,916	2.2	▲ 23.7	▲ 3.4	▲ 4.2	▲ 2.5	▲ 1.3	-	-	-
2025 4	1,034	21.4	▲ 46.3	5.5	7.7	25.7	▲ 4.0	295.4	▲ 3.4	▲ 1.1
5	406	▲ 49.5	▲ 37.0	1.1	▲ 2.5	▲ 11.9	▲ 8.5	291.4	▲ 10.3	▲ 4.6
6	644	▲ 33.1	▲ 46.4	6.8	7.1	▲ 12.8	5.3	280.3	▲ 6.9	▲ 6.9
7	781	▲ 18.2	▲ 43.3	▲ 8.1	▲ 10.9	▲ 13.9	▲ 1.2	254.8	▲ 10.3	▲ 9.2
8	816	9.7	▲ 73.2	▲ 6.4	▲ 7.8	5.1	8.7	254.9	▲ 10.3	▲ 9.2
9	1,055	30.2	▲ 59.5	▲ 13.3	▲ 4.7	1.0	6.7	256.0	0.0	▲ 6.9
10	1,035	14.2	▲ 32.2	▲ 13.7	▲ 7.6	9.0	▲ 2.6	246.4	▲ 6.9	▲ 2.3
11	875	14.2	154.2	▲ 13.6	▲ 19.7	▲ 22.1	▲ 3.0	250.8	0.0	▲ 5.8
12	988	15.2	56.2	▲ 7.2	▲ 7.8	▲ 6.6	12.8	264.3	▲ 3.4	▲ 3.4
2026 1	650	24.5	111.5	▲ 5.8	▲ 8.3	▲ 7.8	▲ 14.8	277.4	▲ 17.2	▲ 6.9
2	915	51.2	242.2	▲ 11.8	▲ 14.3	▲ 18.4	▲ 1.2	306.7	▲ 6.9	▲ 10.3
3	1,177	1.9	15.3	▲ 8.6	▲ 9.2	▲ 8.2	6.8	296.9	▲ 10.3	▲ 11.5
4	901	▲ 12.9	30.0	▲ 8.5	▲ 12.3	▲ 8.0	10.3	298.9	0.0	▲ 5.7
5	-	-	▲ 15.5	▲ 11.5	▲ 8.4	3.6	1.4	295.0	▲ 3.4	▲ 3.4
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 手持ち工事額は、2015年平均＝100とする。

沖縄県内の主要金融経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数 のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	57.4	56.0	40.8	33.3	63.0	3.3
2024	9,661.5	17.3	2,125.5	115.4	68.7	59.8	24.5	9.3	16.0	▲ 4.9
2025	10,755.8	11.2	2,835.5	32.9	73.7	60.5	15.0	1.4	12.3	P▲1.8
2025 4	865.8	15.1	267.3	68.2	73.5	63.9	19.1	8.8	16.8	P▲1.2
5	842.7	18.6	241.7	62.3	69.0	55.5	31.4	9.5	18.1	P▲4.9
6	838.9	12.2	239.5	40.6	71.9	59.1	9.2	▲2.6	15.2	P9.7
7	947.8	3.5	243.6	9.2	72.5	68.1	9.8	0.3	6.4	P▲4.2
8	1,075.0	7.1	291.6	24.1	75.6	71.1	13.5	4.1	3.9	P▲0.5
9	948.0	14.1	263.1	34.0	70.4	68.1	15.4	11.4	4.4	P8.6
10	985.8	11.2	260.9	35.7	76.2	73.0	12.4	11.3	8.9	P▲6.9
11	894.5	10.3	231.7	32.9	73.3	66.4	5.8	11.1	11.3	P▲6.0
12	862.6	5.7	214.7	5.2	70.5	57.2	7.3	10.1	5.4	P▲0.1
2026 1	835.8	6.7	234.7	8.4	72.3	56.1	3.3	1.5	6.4	P▲11.3
2	860.2	10.1	219.4	25.3	85.2	68.3	9.9	12.7	6.7	P▲5.3
3	978.3	7.2	239.9	21.8	79.1	65.5	4.8	10.2	6.0	P▲5.3
4	905.5	2.6	260.2	▲0.6	74.9	69.6	▲ 0.2	12.0	1.0	▲9.6
5	832.5	▲ 1.2	219.9	▲ 9.0	70.5	56.7	1.3	7.0	P2.5	▲ 4.2
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ					

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新 規 求人数 (県内)	広告 収入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	前年比
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲ 2.6
2024	54	5,479	61.2	3.3	3.2	1.2	1.13	▲ 4.2	0.0
2025	67	5,140	▲ 6.2	3.6	3.1	0.1	1.09	▲ 6.5	0.0
2025 4	10	535	184.6	4.1	3.5	0.7	1.10	1.9	▲ 2.5
5	2	280	409.1	3.8	3.0	1.7	1.10	▲ 6.0	▲1.0
6	6	653	▲ 65.2	4.0	3.0	0.4	1.11	▲ 5.7	3.0
7	8	891	▲ 18.9	3.2	3.1	▲ 0.5	1.11	▲ 4.5	5.5
8	2	200	▲ 0.5	3.0	2.7	1.8	1.10	▲ 11.1	1.6
9	4	483	762.5	2.8	3.3	0.4	1.10	▲ 1.3	▲ 1.7
10	7	328	▲ 39.0	3.2	3.6	▲ 0.3	1.08	▲ 8.3	▲ 1.8
11	9	755	263.0	3.1	3.6	▲ 2.4	1.08	▲ 6.6	▲ 0.9
12	6	265	▲ 46.0	2.1	3.1	▲ 1.5	1.08	▲ 11.3	▲1.1
2026 1	9	1,049	212.2	1.5	3.1	0.4	1.07	▲ 6.1	2.6
2	8	1,792	1,728.6	0.9	3.3	2.0	1.08	▲ 8.5	4.1
3	11	1,390	339.8	1.4	3.0	3.3	1.08	▲ 2.1	1.9
4	5	161	▲ 69.9	1.6	3.2	1.7	1.12	▲ 2.7	1.1
5	2	76	▲ 72.8	2.3	-	-	-	-	-
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		りゅうぎん 総研調べ

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年＝100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2025年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の主要金融経済指標(その3)

	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)		地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)	
年度	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2023FY	2,533	4,025	▲ 1,492	1.318	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
2024FY	3,259	5,033	▲ 1,775	1.420	62,889	0.1	62,117	0.1	45,239	3.9
2025FY	3,150	5,162	▲ 1,221	1.601	63,988	1.7	63,171	1.7	47,212	4.4
2025 4	250	333	▲ 82	1.531	64,184	1.3	63,446	1.3	44,886	5.3
5	191	668	▲ 476	1.537	64,061	1.5	63,253	1.5	44,954	5.3
6	236	396	▲ 160	1.599	64,224	1.0	63,507	1.1	45,091	5.2
7	249	423	▲ 174	1.605	63,834	0.6	62,974	0.5	45,113	4.5
8	228	339	▲ 110	1.603	64,247	0.9	63,391	0.9	45,357	4.4
9	212	414	▲ 202	1.602	63,823	0.8	63,032	0.7	45,772	5.1
10	270	491	▲ 221	1.602	63,471	0.8	62,604	0.8	45,807	5.2
11	288	310	▲ 21	1.601	64,204	1.1	63,405	1.1	46,072	5.0
12	573	348	225	1.601	64,138	0.8	63,342	0.8	46,555	6.0
2026 1	159	609	▲450	1.604	63,441	1.2	62,547	1.1	46,586	5.7
2	223	400	▲177	1.706	63,555	1.5	62,800	1.5	46,800	5.0
3	271	431	▲160	1.728	63,988	1.7	63,171	1.7	47,212	4.4
4	284	328	▲44	1.740	65,505	2.1	64,700	2.0	46,795	4.3
5	—	—	—	—	—	—	64,690	2.3	46,912	4.4
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店		沖縄県銀行協会			

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
年度	億円	前年比	億円	前年比	2020年=100	前年比	百万円	百万円
2023FY	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	—	—	52,671	288,310
2024FY	9,827	▲ 3.6	2,696	▲ 7.8	—	—	41,614	304,121
2025FY	9,641	▲ 1.9	2,522	▲ 6.4	—	—	30,068	334,342
2025 4	9,768	▲ 3.7	2,660	▲ 7.7	91.1	4.6	1,975	21,291
5	9,725	▲ 3.5	2,636	▲ 7.7	90.9	▲ 0.7	1,841	37,615
6	9,674	▲ 3.4	2,618	▲ 7.9	91.1	0.1	5,718	60,742
7	9,587	▲ 3.2	2,596	▲ 8.3	91.0	▲ 2.8	3,056	24,731
8	9,566	▲ 3.1	2,585	▲ 8.0	90.6	▲ 3.5	1,703	15,200
9	9,495	▲ 3.2	2,569	▲ 8.0	90.0	▲ 1.6	2,363	21,183
10	9,472	▲ 2.1	2,551	▲ 8.5	86.2	▲ 7.2	2,945	14,119
11	9,442	▲ 2.0	2,538	▲ 8.7	82.6	▲ 10.6	1,965	28,654
12	9,379	▲ 2.3	2,535	▲ 8.2	93.8	1.1	2,325	25,455
2026 1	9,688	1.3	2,529	▲ 7.9	92.7	0.0	2,369	37,243
2	9,644	1.4	2,521	▲ 7.2	79.9	▲ 0.7	2,091	16,145
3	9,641	▲ 1.9	2,522	▲ 6.4	87.1	▲ 4.3	1,717	31,964
4	9,609	▲ 1.6	2,501	▲ 6.0	—	—	2,271	26,580
5	9,496	▲ 2.4	2,501	▲ 5.1	—	—	3,903	23,484
出所	沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

注) 鉱工業生産指数は暦年ベース。暦年値、前年比は原指数の増減率。2024年11月より2020年=100に改定された。

注) 貿易概況は、暦年ベース。